

感染症

相双地域感染症発生動向調査週報(2026年第20週)

(令和8年5月11日～令和8年5月17日)

令和8年5月20日

定点報告(上段:定点当たり/下段:報告数)、全数報告(報告数)

区分	疾病名	2026年					2025年 合計	2024年 合計
		17週	18週	19週	20週	合計		
定点報告	インフルエンザ	-	0.33	0.33	-	-	-	-
		0	1	1	0	582	2,558	1,616
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	2.67	2.33	1.33	-	-	-	-
		8	7	4	0	128	1,139	3,622
	RSウイルス感染症	1.00	-	0.50	0.50	-	-	-
		2	0	1	1	27	156	309
	咽頭結膜熱	0.50	0.50	-	-	-	-	-
		1	1	0	0	4	78	337
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	1.50	1.00	3.00	-	-	-
		3	3	2	6	77	243	657
	感染性胃腸炎	1.00	1.00	1.50	1.00	-	-	-
		2	2	3	2	111	430	610
	水痘	-	-	-	-	-	-	-
		0	0	0	0	4	10	6
	手足口病	-	-	-	-	-	-	-
		0	0	0	0	0	15	952
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-
		0	0	0	0	0	141	0
	突発性発しん	-	-	-	-	-	-	-
		0	0	0	0	12	59	182
	ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-
		0	0	0	0	0	4	19
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-
	0	0	0	0	1	10	13	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	2	9	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	2	16	1	
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1.00	-	-	-	
	0	0	0	1	11	42	16	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ入院	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	7	39	19	
新型コロナウイルス感染症(入院)	-	-	-	-	-	-	-	
	0	0	0	0	21	56	120	
急性呼吸器感染症(ARI)	53.33	55.00	46.67	47.33	-	-	-	
	160	165	140	142	3,722	8849	-	

カラー流行表示は、福島県感染症発生動向調査週報(IDWR)の表示をそのまま表示しています。

新型コロナウイルス感染症	相双地域は前週と比較して減少しましたが、県(県内総数)は前週と比較して増加しました。他疾患と同様、基本的な感染対策が重要です。
水痘	直近4週において、県中、会津からの報告が多い状況です。水痘は一般的に「みずぼうそう」として知られ、約2週間の潜伏期間後に全身に小水疱と発熱が生じます。感染経路は飛沫感染、空気感染、接触感染であり、非常に感染力が強い疾患です。小児に限らず大人も感染しますので家庭内の感染に注意し、ワクチン接種の有無を確認しましょう。
百日咳	本県で4名の報告がありました。昨年の流行以後、減少傾向でしたが、直近7週で郡山市、県中を中心とした報告が続いています。百日咳は、百日咳菌の感染によってけいれん性の激しい咳発作を生じる急性の気道感染症です。鼻水、咳による飛沫・飛沫核感染が主な感染経路のため、基本的な感染対策が有効です。乳幼児の場合は重症化のおそれがあり、注意が必要です。接種時期を迎えたら早期のワクチン接種を推奨します。また、乳幼児のいる家庭では、保護者を含めた家族内の感染に注意しましょう。
結核	本県で4例報告がありました。昨年と同様、高齢者や外国出生者が多くを占めている状況です。外国人労働者を多く雇用する事業所や高齢施設は、既存の感染対策に加え、結核対策としての定期健康診断を実施し、早期発見に努めましょう。
麻しん	県内での発生は確認されていませんが、国内の感染者数が増加しています。麻しん(はしか)は麻しんウイルスによる感染症で、感染すると咳、鼻水、高熱、発しんが生じます。空気感染が主な感染経路であり、極めて感染力が強く、免疫を持たない人が感染者に接するとほぼ全員が感染します。手指消毒やマスクのみでは予防することができません。最も有効な予防法は、ワクチンの接種です。海外からの輸入事例がほとんどであることから、特に海外へ出張・旅行に行く方は、ワクチン接種(2回)の有無を確認し、感染に十分注意しましょう。

大型連休の間に帰省や旅行などで人の移動が増えたことから、感染の拡大に注意が必要です。体調の変化に留意するとともに、基本的な感染対策をお願いします。

(参考・引用)福島県感染症発生動向調査、感染症週報、2026年第20号